

令和2年

目黒区教育委員会

第24回定例会会議録

(令和2年7月14日開催)

第24回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和2年7月14日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	櫻井道雄
	教育委員会委員	後藤幸子
	教育委員会委員	笹尾敦夫
	教育委員会委員	松村真理子

出席職員	教育次長	秋丸俊彦
	教育政策課長	檜本達司
	学校統合推進課長（八雲中央図書館長兼務）	
		関真徳
	学校ICT課長	今村茂範
	学校運営課長	濱下正樹
	学校施設計画課長	岡英雄
	教育指導課長	竹花仁志
	教育支援課長	細野博司
	統括指導主事	片山順也
	統括指導主事	石邑由紀子
	生涯学習課長	千葉富美子

書記		佐藤洋一
		森高健二郎

(議事日程)

日程第1	協議事項	令和3年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択について
日程第2	報告事項	令和2年度目黒区一般会計補正予算(第3号)について
日程第3	報告事項	教育委員会名義の使用承認状況について
日程第4	報告事項	学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について

資料配布

- ・令和2年度目黒区立学校(園)の主な行事予定について(修正版)

(午前9時30分開会)

○教育長 令和2年第24回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。
本日の欠席委員、欠席職員はおりません。署名委員は、櫻井委員
です。

ただいま、傍聴の申請がありましたのでお諮りします。傍聴を
許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、傍聴を許可することといたします。
なお、以後、傍聴の申請があった場合には、22人までその都度
許可することとし、委員の皆様にはお伝えすることはいたしません。

それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 協議事項 令和3年度使用目黒区立中学校教科用図書採択に
ついて)

○説明員 (資料により説明)

なお、採択の日程でございますが、変更点がございます。当初、
8月4日火曜日に、全種目について採択候補を1社に絞り込んで
いただく予定としておりましたが、8月4日火曜日は国語、書写、
数学、理科、美術についてのみ採択候補を1社に絞り込んでいた
だき、残りの地理、歴史、公民、地図、保健体育、音楽(一般)、音
楽(器楽)、技術、家庭、英語、道徳につきましては、8月18日
火曜日に採択候補を1社に絞り込んでいただきたく存じます。

また、8月18日火曜日に予定しておりました中学校全科の採
択議決ですが、8月25日火曜日に変更させていただきたくお願
いいたします。

○教育長 ただいま事務局から、日程変更について説明がありましたが、資
料1に記載のとおり変更することにご異議ございませんでしょ
うか。

(各委員同意)

○教育長

それでは、日程変更について了承することといたします。

本日も前回に引き続き、令和3年度から目黒区立中学校で使用
する教科用図書について、調査研究委員会報告書及び学校調査報
告書を参考に、実際に教科書も手にしながら協議を進めてまいり
たいと思います。

資料1の採択日程のとおり、本日は5種目、地理、歴史、公民、
地図、保健体育について協議します。

この5種目については、8月18日の協議で採択候補を1社に
絞る予定ですので、発行者数が多い種目については本日一定程度
の絞り込みを行ってまいりたいと思います。

なお、前回と同様、各委員及び私が発言する際に呼ぶ各教科用図
書の発行者名については、お手元の発行者一覧に記載の協議用記
号で呼ぶことといたしますので、よろしく願いいたします。

それでは、早速本日の協議に入ります。

まずは、地理から始めます。

委員の皆様には、実際に教科用図書を見た上で感じられたこと
や選定していく上での視点など、ご意見をいただきながら、採択候
補とする教科用図書を2社または3社挙げていただきたいと思います。

○委員

いずれの教科書も検定教科書であり、新学習指導要領に則り作
成されたものであるため、選定が難しかったです。

私は、先生たちによる教科書への評価を1つ目の選定の基準と
しました。

2つ目の選定の基準は、生徒たちが主体的に学びに向かえる内
容であり、工夫がたくさんなされているかどうかです。

3つ目の選定の基準は、目黒の生徒たちの実態にあったもので
あるかどうかです。実態にあっているかどうかについては、「調査
研究委員会報告書」及び「学校調査報告書」の記載と私自身が教科
書を見て判断しています。

地理については、結論から申し上げますと、G社とI社の2社を
選びました。理由としては、学習指導要領の改訂ポイントである地
球規模の課題や防災・安全教育関連の内容が十分に記載されてい
ることや生徒たちが主体的・対話的に学べるつくりとなっている
と判断したからです。

G社の教科書に関しては、地理の基礎的な知識・技能を習得する
コーナーが多数あり、また、興味を引くコラム欄も充実しています。

特に、単元末だけでなく、単元の間にもグループで学習するコーナーがあり、対話による学びができる工夫がなされているところを評価しました。

I社の教科書に関しては、SDGsについて力を入れて取り上げていることや、それに関連したコラム欄が多数あるところがよいと思いました。また、地理の基礎的な知識・技能を習得するコーナーが多数ありましたが、その中でもハザードマップの読み取り方や防災情報など、防災関連の内容も充実しているところを評価しました。

○委員

私は、現場の先生が教えやすいと評価したものに注目しました。また、知識・技能を確実に習得させる工夫、思考力、判断力、表現力等を育む工夫、主体的な学びを育む工夫、この3点の工夫がなされていることにも注目しました。

その結果、私はG社とI社がよいと思いましたが、全ての教科書について、注目した点を述べたいと思います。

まずG社の教科書については、「スキル・アップ」、「地理にアクセス」、「チェック」、「トライ」のコーナーで、主体的な学びに展開する工夫が見られました。

次にH社の教科書でも、「確認」や「表現」のコーナーがありましたが、グループでの活動への記載が少なかったため、その点に力を入れてほしいと思いました。また、「地理の窓」のコラム欄については、興味・関心を広げる工夫としてはよいのですが、読んで終わりにならないよう更なる工夫がほしいと思いました。

次にI社の教科書については、「確認しよう」、「説明しよう」のコーナーが設けられており、生徒たちの知識・判断・表現力や主体的な学びに向かう態度を育む工夫がなされていました。ただ、「技能をみがく」のコーナーでは、文章が多かったため、読むだけで終わらせない工夫が欲しいという印象を受けました。

また、「節の学習を振り返ろう」のコーナーが各節にありまして、この構成が優れていると思いました。

最後には、持続可能な社会をつくるため、SDGsの取組等が紹介されていました。ここでは、主体的な深い学びにつなげる工夫が見られました。

最後にJ社の教科書については、「ふりかえろう」や「スキルUP」のコーナーがありまして、地理の技能を向上させるための工夫がなされているという印象を受けました。

以上、私はG社とI社を選びました。

○委員

どの会社の教科書も遜色ないものでしたので、選ぶのが難しかったです。

社会の科目につきましては、教科の特性上、ある程度暗記をすることが重要な科目だと思います。そのため、各教科書の情報量が重要だと思いますが、情報量に関しては、4社の教科書いずれも十分な情報が記載されていたので、甲乙つけがたい印象を受けました。

ただ、暗記をするだけでなく、なぜそのような結論になるのかと考える思考力を身につけることを考慮すると、単に知識を羅列するだけでなく、どうしてそのような結論になるのかについて文章による解説が記載されている教科書であることが望ましいと考えております。

そのような観点から検討しまして、地理につきましては、G社とI社がよいと考えます。

まず、I社の教科書についてですが、各ページの図と写真と文章がバランスよく盛り込まれているという印象を受けました。世界各国または日本の各地方についての記述も、バランスがよいと思いました。

他社の教科書では、日本にとって重要なアジアの国の記述が少なく、地方の情報量のバランスがよくない印象を受けましたが、I社の教科書については、その点十分なバランスを取っていると思いました。

特に、私が生徒にとってよいと思ったのは、I社の教科書の中で、日本の各地方ごとの表紙の部分に、地図とイラストを組み合わせた図が添付されていまして、とても見やすいと思いました。

次に、G社の教科書についてですが、情報量は十分であり、バランスも取れていると思いました。項目ごとに学習課題などが設定されているほか、「ふりかえろう」のコーナーがあるため、思考力・表現力を養うことにも配慮されていると思いました。

○委員

私は、まず、主体的・対話的で深い学びによって、新しいものをつくり上げ、創造力が養える教科書であり、義務教育であることから、偏りがなく、親しみやすく、個々の能力に対応できる教科書がよいと思います。

また、地理という科目は、学ぶ範囲が広いため、学ぶ目標がはっきりしており、ポイントが分かりやすいかどうかを確認するほか、

近年話題となっている問題に対して、どのような方向性で記述しているのかについても注目しました。例えば、国際的な領土問題や今問題となっている自然災害について、どのような記載をしているのか比較検討しました。

各社の教科書いずれも領土問題については中立的な立場で記載されているので、よいと思いました。また、防災についても、身近な問題として取り上げ、詳細に記載されていました。防災の基本である自助、共助、公助については、4社の教科書のうち3社の教科書が取り上げていました。ハザードマップについても、3社の教科書で記載されていました。

以上を検討した結果、私はH社とI社を挙げました。

○教育長

本日、地理に始まり歴史、公民について協議していきませんが、それらは関連性のあるものであり、地理については、歴史や公民といった人間の営みを考える上でのベースとなる、地域の環境条件や相互の結びつきについて理解するための大切な科目であると捉えています。

私は、G社とI社を選択しました。

まずG社の教科書についてですが、様々な図式による思考ツールを活用しての学習内容を考察するコーナーや、資料を集め、読み取り、まとめることのポイントを示すコーナーなどがあり、地理的分野の知識の習得にとどまらず、学びを深めることに適したつくりとなっています。

ただ、細かい点ですが、1冊の中で再掲されている写真が何点かありまして、生徒たちに安易な印象を与えかねないか気になりました。

次にI社の教科書についてですが、巻頭部分で地理的な見方と考え方についてポイントが示されるとともに、地理的な分野の学習の全体像と歴史的分野、公民的分野との関係性に触れられており、導入部が整えられている点が特徴的でした。

そして、地理的な見方と考え方については、巻頭で示したポイントを具体的な形で身につけていくことができるコラム欄が多数用意されています。

また、世界と日本の各地域学習の冒頭には、興味を引く写真が掲載されていますが、見るだけではなく、地図でその写真の場所を確認させたり、関連する問いかけを用意する工夫がなされている教科書だと判断いたしました。

出ました意見を集約いたしますと、G社を推された方が4名、I社を推された方が5名全員、H社を推された方が1名となりました。

今回、地理4社のうち、2社に絞り込みたいと考えているところですので、推された方の人数により絞り込みますと、アルファベット順でG社とI社ということによろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、地理については2社に絞り込まれましたので、8月18日の協議ではG社、I社を採択候補として、1社に絞るという日程でまいりたいと思います。

ここで、議事の都合上、暫時休憩とします。

(午前9時53分休憩)

(午前9時54分再開)

○教育長 休憩前に引き続き協議を再開します。

次に、2番目の歴史について協議をいたします。

○委員 私は3社に絞り込みましたが、全ての教科書について、目についた点を述べたいと思います。

まず、G社の教科書についてですが、各ページの下にその時代が分かる年表スケールが記載されており、生徒が学習している時代を簡単に確認できるような工夫がなされている点がよいと思いました。また、「みんなでチャレンジ」のコーナーでは、イラストに基づき学習を進めることで、思考力・判断力・表現力を身につけることができると思いました。また、各章のまとめに「もっと歴史」というコーナーがありまして、歴史の探究課題や歴史を学ぶ意味、少子高齢化などの現代的な課題について示されている点がよいと思いました。また、最終章では、「持続可能な社会に向けて」をテーマとして、大震災、SDGsの開発目標などについて記載されている点がよいと思いました。

次にH社の教科書についてですが、「確認」、「表現」のコーナーでの設問が簡潔なことから、生徒がどう答えてよいか分からなくなるおそれがあるため、その点についてももう少し工夫があれば

よいと思いました。一方、学習のまとめでは、イラストの吹き出しや新聞を用いるなどの工夫がみられ、よかったです。

次にI社の教科書についてですが、この教科書にも各ページに年表スケールが記載されていて、その工夫がよいと思いました。また、「タイムトラベル」のコーナーにより、小学校の学習の振り返りができる点もよかったです。

次にJ社の教科書についてですが、「歴史へのアプローチ」や「地域からのアプローチ」のコーナーにより、深い学びを目指す工夫が見られましたが、文章の量が多いことや文字が小さいことが気になりました。

次にK社の教科書についてですが、「チャレンジ歴史」のコーナーで、学習課題に対して意見を出し合う学習が示されており、よい工夫だと思いました。また、「先人に学ぶ」、「女性史コラム」、「地域に学ぶ」というコラム欄を掲載しており、歴史学習を豊かにする工夫がなされた教科書であるという印象を受けました。

次にL社の教科書についてですが、「なでしこ日本史」というコーナーで多くの歴史上の女性を紹介していますが、この特集は女子生徒の主体的な学びを促すことができるつくりだと思いました。また、「鳥の目で見ると」や「虫の目で見ると」など、資料の掲載方法に工夫が見られた点がよかったです。

最後にM社の教科書についてですが、文章が多く、設問や図、絵などの資料が少ない印象を受けました。

ただ、教科書全体の構成や文章の流れについては、歴史小説のような印象を受けましたので、生徒の主体的な学びにつながるつくりだと思いました。

以上、7社を見比べまして、私は、G社、H社、I社の3社を選びました。

○委員

歴史という科目において、それぞれの時代にどのような出来事があったかという知識は重要だと思えますが、それだけでなく、なぜそうなったのか、どのような背景があったのかということも学ぶ必要があると思えます。それを学習することにより思考力が身につくにつれ、他者とコミュニケーションするために必要な表現力も養われる点にも注目して、教科書を選ぶ必要があると思えます。

そのような観点から、私はJ社とI社がよいと思いました。

各社の教科書は、検定を経ているので、各時代の出来事については、全て同じ内容が書いてありますが、J社の教科書は、どのよう

な背景や理由によりその出来事が生じたのか説明している点がよいと思いました。また、時代背景についての言及も、深みのある記述が見られました。ただ、教科書に年表が付いていないことが残念です。

次に I 社の教科書についてですが、文章と資料のバランスが適切だと思いました。また、巻末に年表がついているため、便利であり、各項目の終わりに設けられた「時代の特色を説明しよう」のコーナーで、思考力・判断力・表現力を向上させることができる作りとなっています。また、「歴史を探ろう」のコラム欄で、題材について深く言及することで、歴史への興味を湧かせる工夫がなされている点もよかったです。

G 社の教科書も情報量が多く、文章もしっかりしていると思いましたが、写真や資料の割合が多く、文章が少ないという印象を受けました。この点についての判断は個々により異なると思いますが、私は、過度な資料や写真は思考を妨げることもあると思いますので、G 社は選びませんでした。

○委員

歴史の教科書は、過去の文化などを現在の生活に活かし、よりよい社会を築いていくための創造力を養うものであってほしいと考えていますので、事実を中立的な立場で記載したものを選びたいと思っています。

そこで、第二次世界大戦前後や日中戦争の始まりなどについて、各社の教科書を比較検討しました。いずれの教科書も中立的な立場で記載されており、視覚からその時代に入りやすい工夫がなされていました。

また、日本史と世界史との関係について、どのように記載しているのか、相談しながら自分で学びを深められる教科書であるのかについて、各社の教科書を比較検討したところ、私は G 社、H 社、I 社の 3 社がよいと思いました。

○委員

歴史については、基礎的・基本的な知識の習得に加えて、対話的な学びも必要だと考えています。その点について工夫がなされているかどうかを評価しました。

結論から申し上げますと、G 社、I 社、K 社、この 3 社を選択しました。

まず G 社の教科書についてですが、単元末や単元の間でのグループワークなど、対話により学習するところが多いところがよかったです。また、様々な思考ツールが提示されており、論理的な考

え方を学ぶ手助けになると思いました。また、G社の教科書のみ巻末に用語解説が掲載されており、生徒の学習の助けになると思いました。

次にI社の教科書についてですが、導入に「タイムトラベル」という時代ごとのイラストが見開きで準備されていて、生徒たちの興味を引くつくりとなっています。まずは、興味・関心を持たせることが大事ですので、そのためのよい工夫だと思いました。また、多面的・多角的に考えるための工夫が設けられている点もよかったです。また、学習課題の提示が「確認しよう」、「説明しよう」に統一されています。今の日本の子どもたちは、言葉で何かを伝えることを苦手としていると思しますので、相手に言葉で伝えることを学習の一環に組み込んでいるところがよいと思いました。

最後にK社の教科書についてですが、導入を「地図で見る世界の動き」としており、その時代の世界情勢を地図で確認できるつくりとなっています。高校で世界史を学ぶ土台作りにもなるため、よい工夫だと思いました。また、コラム欄が充実している点や、「歴史を掘り下げる」というコーナーが準備されている点もよいと思いました。また、対話的な学習として、「チャレンジ歴史」というコーナーが準備されていて、その題材が興味深いものであるため、生徒たちが関心を持って取り組むのではないかと思います。

○教育長

私は、史実とされているものが客観的に記載されていること、史実とされているものであっても、様々な見方があることを生徒たちに感じてもらえる教科書がよいと思い、G社、H社、I社を選びました。

G社の教科書については、同社の地理の教科書と同様ですが、様々な図式による思考ツールを活用するコーナーや、資料の扱い方のポイントを示すコーナーなどがあり、学びを深めることに適したつくりになっていると思います。また、各テーマについては、グループで意見交換しながら取りまとめるコーナーがありますが、地理の教科書ではテーマ数が6であるのに対して、歴史の教科書ではテーマ数が22ありまして、この活動を通じて、歴史上の一つの出来事にも多様な見方が存在するということを、生徒たちが気づくことにつながるのではないかと思います。そして、新学習指導要領の改訂ポイントの1つである人権思想の広がりについても触れられている点を評価しました。

H社の教科書については、各章の導入部で資料的価値のある絵や写真などが大きく掲載されており、その資料に係る設問が付され、各章の中の各節についても、見開きで同じようなレイアウトとなっていて、生徒が自ら資料を読み取り、仮説を立てながら学びを深めていけるつくりになっています。また、本文の字体やポイントも、読みやすく感じられました。

I社の教科書については、同社の地理の教科書と同様ですが、巻頭で歴史的な見方と考え方についてポイントを示し、学習の全体像と、社会科の他の分野との関係性に触れられており、導入部が整えられています。また、様々なコラム欄が充実しているほか、歴史上の出来事について、同時代の人々も多様な見方をして、その意見を表明していたということが分かる内容になっている教科書であると思いました。

出ました意見を集約いたしますと、I社を推された方が5名全員、G社を推された方が4名、H社を推された方が3名、J社を推された方が1名、K社を推された方が1名となりました。

今回、歴史7社のうち、3社または4社に絞り込みたいと考えているところでして、推された方の人数により絞り込みますと、アルファベット順でG社、H社、I社ということによろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、歴史については3社に絞り込まれましたので、7月28日の協議で2社に絞り込みを行って、8月18日の協議で1社に絞るという日程でまいりたいと思います。

ここで、議事の都合上、暫時休憩とします。

(午前10時16分休憩)

(午前10時17分再開)

○教育長 休憩前に引き続き協議を再開します。

次に、3番目の公民について協議いたします。

○委員 公民につきましては、政治と経済の2つの分野に分けられると思います。

まず、政治の分野については、日本国憲法を生徒が正しく理解・

学習できる内容であるかという観点を重視しました。

全ての教科書を確認したところ、会社ごとにトピックの取り上げ方や、表現の仕方、重点の置き方に差はありますが、いずれの教科書も適切な内容であると思いました。

加えて、日本国憲法は人権の部分と民主政治に関する部分に分けられますが、民主政治の部分は、政治的な主義主張にも密接に関わる内容となりますので、記載内容が特定の思想に偏っていない中立的なものであるかどうかについても重視しました。

次に、経済の分野については、中学を卒業して社会に出る生徒もいると思いますので、生活に密着した消費者法や契約など、法律的な知識や経済的な知識が身につく内容になっているかどうかについても重視しました。そして、暗記だけの学習にならないよう、物事の理由づけも記載されている教科書がよいと思っています。

その観点から、私はI社とG社が適切であると思いました。

まず、G社の教科書につきましては、文章の説明以外に、写真や図の資料を多用しているため、情報量が多いことがよいと思いました。また、いずれの教科書にも巻末の資料に法律が掲載されていますが、その中でもG社の教科書は法律の種類や量が豊富で、充実していると思いました。また、掲載されている資料についても、生徒に深く考えさせる内容であり、分量も十分であるという印象を受けました。ただ、写真や図が多いため、本文の文章が読みづらい印象も受けました。

次に、I社の教科書についてですが、この教科書も写真や図の資料は多いのですが、G社の教科書と比較して、文章を記載する位置や分量が一定であるため、文章が読みやすい印象を受けました。

ただ、個々の分野に関する情報量は、G社の教科書に比べると少ないですが、総合的に見て、I社の教科書も優れていると思いました。

その他の会社の教科書についてですが、天皇制について言及している箇所、掲載されている写真が平成天皇である教科書がありました。令和3年度以降に使う教科書として違和感がありました。また、一定の価値観を強調している教科書もあり、そのような教科書は選びませんでした。

○委員

公民については、現代社会で自分らしく主体的に生きるために、自分で考える力を身につけさせるものであり、友達と相談しながら学びを深めることができる教科書がよいと思いました。

結論から申し上げますと、G社、H社、I社がよいと思いました。

まずG社の教科書についてですが、各章の初めと終わりに同じ問題があり、章の学習を通じて自分の考え方の変化を確認できるつくりとなっています。また、皆で問題を一緒に考え、学び終わった後に、学びの成果を共有することもできる教科書だと思います。

次にH社の教科書についてですが、学習の見通しで学びの要点を先生が説明した後に、生徒同士が話し合いをして記録に残すつくりとなっている一方、学習のまとめでは、資料を見ながら考えさせる設問が用意されているため、対話による学びを行うとともに、自身にも考えさせる工夫がなされている教科書だと思います。

最後にI社の教科書についてですが、「アクティブ公民」や「技能をみがく」のコーナーで対話による学びを行うとともに、新聞の見方や契約など、日常的生活から重要なことを考えさせる工夫がなされていると思いました。

○委員

政治や経済を扱う科目ですので、中立性が保たれているかどうかを重視したほか、学習指導要領の改訂ポイントである防災情報の発信・活用や選挙権年齢の引下げによる政治的参加、社会参画についての記載を重視しました。

結論から申し上げますと、私はG社、I社、J社の3社を選択しました。

まずG社の教科書ですが、導入の見開きに設問があり、課題解決まで一貫した紙面構成となっている点がよかったです。また、私は、小集团的活動など対話による学びを重視していますので、その取組が多い点もよかったです。ただ、防災についてのボリュームが少なかったので、もう少し記載が多ければよかったです。

次にI社の教科書ですが、防災など、社会の課題として取り上げた8つのテーマについて賛成・反対の立場で話し合う企画が示され、興味を持って学習に取り組むことができるつくりとなっています。防災についての記載が充実している点も評価しました。

最後にJ社の教科書についてですが、社会参画というテーマについて、「明日に向かってー私たちの社会参画ー」という項目で明記されているところを評価しました。また、「災害に強いくらしをきずくには」や「職業について調べてみよう」の項目では、災害への対策や予防について生徒に考えさせる点がよいと思いました。最後の第5編の「私たちの課題」の項目の中で、レポートの書き方を提示している点もよかったです。

○委員

私は、G社、H社、I社の3社に絞り込みました。

まずG社の教科書については、思考ツールの「トゥールミン図式」などを示して、思考力・判断力・表現力を育成するつくりとなっている点がよいと思いました。また、この教科書の巻頭で、持続可能な社会の実現を目指して学習することが目的であることを明示しており、基本姿勢がしっかりしているという印象を受けました。さらに、「チェック」、「トライ」のコーナーが設けられており、基本知識の習得を促すよい工夫だと思いました。最後に「参考法令集」では、日本国憲法の前文や用語の解説が2色刷りで掲載されており、見やすいため、主体的な学びにつながる工夫だと思いました。

次にH社の教科書についてですが、SDGsやディベートについて丁寧に取り上げている点がよいと思いました。また、新しい言葉を紹介するコーナーもありまして、クラウドファンディングを用いて中学生が立ち上げた株式会社の紹介など、生徒自身を新たな挑戦に導こうとする工夫が見られました。ただ、説明が多いため、生徒の意欲を引き出す工夫を行ってほしいと思いました。

最後にI社の教科書についてですが、国王が権力を独占するとどうなるか、保険証がないとどうなるかなど、社会制度について漫画で説明する取組が面白いと思いました。また、「未来に向けて」などのコラム欄が設けられており、生徒の興味を引き出し、主体的な学びを促すよい工夫だと思いました。

○教育長

私は、公民については、政治や社会の原理原則についての記述とともに、現代社会の生きた情報をどのような形で、どこまで記述されたものが適当なのかを考慮し、その結果、G社、H社、I社の3社を選択しました。

G社の教科書については、同社の社会科の教科書に共通するものですが、様々な図式を用いた思考ツールを活用するコーナーや、資料の扱い方の基礎的・基本的な技能を身につけるためのコーナーがあり、学びを深めることに通じたつくりになっています。

また、全体的に新聞記事の資料が多く使われており、このことが教科書の記述に臨場感を持たせ、さらに各紙を読み比べて、メディアリテラシーを身につけることにつながっています。

さらに、グループでの意見交換のため設定された課題もシンプルではありますが、奥の深い論議のできる題材が用意されており、これらの点を評価しました。

ただ、よい教科書だと思うのですが、一部気になった点がありま

した。「選挙の流れ」という図がありまして、その中に、当選して万歳をする議員の写真が大きく掲載されていました。また、当選確実のバラの花を持つ某政党の党首の写真も掲載されていました。あと、議員活動の例として、「金帰火来」という活動実態を表す言葉がありますが、それが図で示されていました。これらのものを教科書に載せることが適当なのかどうか、若干の疑問が残りました。

次に、H社の教科書についてですが、その巻頭部分で、中学校で公民を学ぶことの意義について、地理や歴史で学んだことの集大成として、持続可能な未来の在り方について自ら考え、深めていけるように示している点が特徴的な教科書です。

そして、その座標軸としてSDGsの考え方を示して、ほぼ全てのページに、当該ページで扱っている項目がSDGsのどの目標につながっているかを示すマークが示されていて、自分たちが何に向かって学んでいるのかを常に確認できるつくりになっています。

ただ、この教科書にも疑問点がありまして、天皇の国事行為等を説明するページに使われている複数の写真が平成29年、30年の写真でして、写真に添えられた説明文も「当時の天皇皇后両陛下」とありまして、なぜ令和の両陛下の写真が用いられていないのか、編集者の意図が私にはよく分かりませんでした。

最後に、I社の教科書についてですが、巻頭部分で、公民的分野の学習の全体像と小学校の社会科で学んだ事柄、地理的分野で学んだ事柄、歴史的分野で学んだ事柄との関係性が整理されて示されています。あわせて、様々なコラム欄も充実していて、自ら考え自ら学びを深めていけるつくりになっています。

また、各項目の冒頭には、興味を引く写真や図が掲載されており、それを題材とした問いかけがあるところも、工夫されている教科書だと判断しました。

出ました意見を集約いたしますと、G社とI社を推された方が5名全員、H社を推された方が3名、J社を推された方が1名となりました。

公民は6社ありまして、本日は3社または4社に絞り込みたいと考えているところですので、推された方の人数により絞り込みますと、アルファベット順で、G社、H社、I社の3社を残すということで、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、7月28日の協議ではG社、H社、I社を採択候補としまして、その中から2社程度に絞り込みを行いまして、8月18日の協議で1社に絞りたいと思います。
 ここで議事の都合上、暫時休憩とします。

(午前10時40分休憩)

(午前10時41分再開)

- 教育長 休憩前に引き続き協議を再開します。
 次に、4番目の地図について協議いたします。
 地図の発行者は2社ですので、本日は委員の皆様のご意見を伺うのみとしまして、8月18日の協議で1社に絞りたいと思います。
- 委員 私は、地図については、視覚的に見やすく、基本的な資料が整っているものがよいと考えています。
 H社の教科書の判型は他社のものより少し大きく、日本列島の全体の地図が3ページにわたり掲載されており、非常に見やすいと思いました。また、アメリカ大陸の横に経度、緯度、尺図と同じ日本地図が並んでおりまして、視覚的にも素晴らしい工夫だと思いました。
- 委員 私は、教科書が見やすいか、生徒が興味を引く工夫がなされているか、資料が整っているかどうかという視点で選定を行っており、その結果、H社の教科書が一步リードしていると思いました。
 H社の教科書は、判型が大きいいため見やすく、各国の地図のページにも、必ず日本とのつながりを示す記載があることや防災についても触れられている点がよいと思いました。
- 委員 印象に残ったことを2点申し上げます。
 世界地図の随所に日本地図を重ねている工夫がなされていることと、東京都の中心部の地図がありますが、目黒区の道路、河川、鉄道が特定できるほど見やすく記載されていること、この2点の工夫が素晴らしいと思いました。
- 委員 私は、H社の教科書が優れていると思いました。その理由は、他の委員が述べられたとおりです。

G社の教科書については、地理の教科書に載るような情報まで掲載されているため、分量が増えており、すっきりしない印象を受けました。

○教育長 G社の教科書については、判型が社会科の教科書と同じ大きさですので、地図としては図版が窮屈な印象を受けました。

ただ、この地図帳を歴史や公民の時間にも活用しようという考え方が一貫している点については、評価ができたと思います。

H社の教科書については、判型が大きいため、地図として安定感があると思いました。

また、他の委員が述べられたとおり、世界地図の随所に同じ緯度や同じ経度にある同じ縮尺の日本地図が置かれていまして、生徒が世界の広さや外国の都市と都市の間の距離などを実感できる作りとなっている点は、地図帳としての役割を果たしていると思いました。

では、先ほど申し上げたとおり、地図については8月18日の協議で1社に絞りたいと思います。

ここで議事の都合上、暫時休憩とします。

(午前10時46分休憩)

(午前10時47分再開)

○教育長 休憩前に引き続き協議を再開します。

本日最後の保健体育について協議します。

○委員 保健体育については、学習指導要領の改訂ポイントが押さえられていることと、健康や運動など、日常生活に関わることが示されている教科書がよいと思い、H社とJ社を選びました。

H社の教科書についてですが、教科書を開きまして、左側に本文、右側に資料を掲載するという形式が徹底されおり、とても見やすい印象を受けました。また、「避難所でできることを考えよう」のコーナーでは、中学生に社会参画を促す工夫がなされており、よかったです。

J社の教科書についてですが、「探究しようよ！」のコーナーでは、社会性の発達や自己形成の促進に注力していると感じました。日本の子どもたちは、自己肯定感が低いと聞いたことがありますので、この取組を評価しました。

○委員

私は、G社とJ社を選びました。

G社の教科書についてですが、各單元ごとに「見つける」、「学習課題」、「課題の解決」、「広げる」という流れで構成されており、生徒にとって読みやすく、考えやすいつくりであると思いました。また、巻末の資料では、性の多様性やインターネットによるコミュニケーショントラブルなど、現代的な課題についても工夫されていると思いました。さらに、身体力テストの項目では、見やすく編集されており、よかったです。

次にJ社の教科書についてですが、各章の初めに、小学校で学習したことや高校で学習することが示されており、つながりを意識しやすいつくりとなっています。また、「もっと広げる深める 心と体のSOS」のコーナーでは、いじめという重要なテーマが取り上げられており、よかったです。

○委員

保健体育は、最も絞り込むのが難しい教科でしたが、私はJ社とI社を選択しました。

J社の教科書についてですが、各單元ごとに「課題をつかむ」と「まとめる・深める」という2つの項目があり、すっきりして見やすいという印象を受けました。また、写真、図解、資料も充実していると思いました。

I社の教科書についてですが、全体的に内容が充実しており、社会問題になっている感染症について、写真や図表が分かりやすいため、選びました。

○委員

私は、保健体育については、希望する人生に向けて、心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成できる教科書がよいと思います。そこで、中学生の1年生の「心身の発達と心の健康」の項目を重点的に各社の教科書を見比べました。

また、中学生になると、体に大きな変化が生じるとともに、悩み事が多くなりますので、それらの問題に対して考えさせ、一定の方向性が示されている教科書がよいと思い、各社の教科書の記述を確認しました。

結論から申し上げますと、G社とJ社がよいです。

G社の教科書については、各テーマごとに、課題へのヒントが他社の教科書よりも分かりやすく記載されています。

「活用する」のコーナーでは、自分や友達に置き換えて悩み事について対応する工夫がなされています。また、学びのポイントが分かりやすく、巻末の資料では今日的な問題を取り上げ、それに対す

る注意喚起があり、対応法なども示されていて実践的なつくりであると思いました。

さらに、困ったときの相談窓口の連絡先が記載されており、生徒自らがそこに連絡して悩みを打ち明けることができるため、実践的な教科書であると思いました。

次にJ社の教科書については、学習の目標があり、目的が非常に明確になっているところがよいと思いました。

また、「課題をつかむ」のコーナーでは、自分や友達の間を通して問題を提起するつくりとなっています。

それから、ページの下段に「情報サプリー」のコーナーが設けられており、コラム欄や資料へのコメントが記載されているほか、「探究しようよ！」のコーナーでは参考ページも示され、自分で学べるつくりとなっています。

最後に、「もっと広げよう」のコーナーでは、実生活の今日的な問題についてみんなで考える構成になっており、自分で深く学べる一方、皆と一緒に考えられるつくりになっているところがよかったです。

○教育長

私は、保健体育の教科書を見まして、自分が中学生のときは感じませんでした。この年齢になりますと、生きていく上で役立つこと、力になることが豊富に盛り込まれていて、生徒たちの成長の糧となる科目だと改めて実感しました。

私が選択したのは2社、G社とH社です。

G社の教科書についてですが、全体的なつくりとしては、1つ1つの単元が見開きで分かりやすくまとめられていて、写真や図表、イラストも豊富で、色合いも目に優しく、読みやすくできています。

そして、各単元について、他の単元や他の教科とのつながりが明示されているので、学びを深めていくことができるつくりとなっています。

それから、現在の新型コロナウイルスが警戒されている状況から、感染症の扱いにも注意を払いましたが、感染症の広がり方、感染症の予防、保健・医療機関の利用、健康を守る社会の取組など、公衆衛生の話が丁寧にまとめられている点も評価できました。

また、章ごとにまとめられた資料編で、性の多様性やSDGsなど、現在の教育課題が扱われている点もよいと思いました。

H社の教科書についてですが、保健体育を学ぶ上で最も基本的な言葉、「健康」という言葉の定義をWHOの世界保健憲章の前文

から引用して紹介している点がよいと思いました。

それから、全体的なつくりとしては、単元ごとに見開きでまとめられています。開いた左ページが本文、右ページが資料という形は、学びの定着につながるものだと思います。

また、中学生については、近年、災害時の避難所などでは支える側の一員として考えられるようになってはいますが、そういった観点からも、防災意識の向上や応急手当の基本、特に心肺蘇生法については折り込みで詳しく記載されているなど、生徒の成長に資する内容になっていると思いました。

出ました意見を集約いたしますと、J社を推された方が4名、G社を推された方が3名、H社を推された方が2名、I社を推された方が1名となりました。

保健体育は4社ありまして、本日2社に絞り込みたいと考えているところでして、推された方の人数により絞り込みますと、アルファベット順で、G社、J社の2社を残すということで、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、保健体育については2社に絞り込まれましたので、8月18日の協議ではG社、J社を採択候補として、1社に絞るという日程でまいりたいと思います。

以上で、本日予定していた中学校教科用図書に係る協議については終了いたします。

ここで、議事の都合上、暫時休憩とします。

(午前10時58分休憩)

(午前10時59分再開)

○教育長 では、休憩前に引き続き会議を開きます。
次に、日程第2を議題とします。

(日程第2 報告事項 令和2年度目黒区一般会計補正予算(第3号)について)

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はありませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に、日程第3を議題とします。

(日程第3 報告事項 教育委員会名義の使用承認状況について)

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はありませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に、日程第4を議題とします。

(日程第4 報告事項 学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について)

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はありませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。

〔 資料配布
・令和2年度目黒区立学校(園)の主な行事予定について(修正版) 〕

- 教育長 その他なにかございますか。
以上で本日の定例会を閉会します。

(午前11時13分閉会)